

自籠岩（じごもりいわ）

南祖坊が十和田湖の守り神を脅かす八頭の大蛇と戦うため、修行に使ったと言われる岩です。言い伝えでは、神々が大蛇と戦う南祖坊に話しかけたのもこの場所であったとされています。龍神と化した南祖坊は暴虐な大蛇を相手に勝利を収め、以後、自籠岩は占場、十和田神社とともに神聖な場所とみなされるようになりました。

道標もない山道を 30 分以上歩くと自籠岩に至ります。金属製の梯子や岩を伝って頂上まで登ると、十和田湖の壮大な景色が目前に広がります。

ご注意：自籠岩へは経験豊かなガイドの付き添いが必須です。初心者の方にはお勧めいたしません。